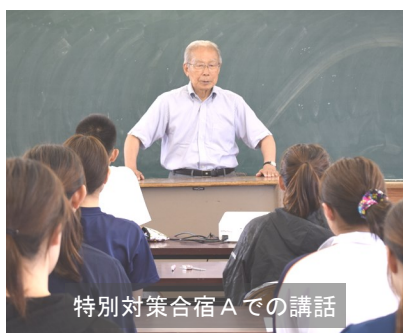


宮崎国際大学

教育学部ニュースレター

教育学部生へ

学校法人宮崎学園相談役 大坪久泰



特別対策合宿Aでの講話

宮崎学園短期大学初等教育科を改編し、本学の教育学部として児童・幼児教育を担う人材育成をするための4年制の学部課程を新設したいと、長い間考えていました。念願が実現し、すでに2年生、1年生が在籍し、活発に勉学に励んでいるのを見るのは誠に頼もしく、また嬉しい限りです。

児童、幼児の教育は人類社会にとっては最重要事項の一つですが、とくに

現在の日本社会にとっては喫緊の重要課題になっています。それは少子高齢化問題と深く関連するからです。

課題解決にはいろいろな対策がありますが、その一つとして、遠回りようですが、乳幼児の教育の充実があります。子どもの保護者が納得して子どもを託すことができる社会の受け入れ態勢の充実が課題解決の糸口になるからです。その担い手は皆さんです。日本社会の人口問題対策は世界中が注目しています。皆さんが立派に育ち、国際社会・地域社会に巣立って行かれることを祈ってやみません。

平成28年度公立学校教員採用選考二次試験に3名合格！

学生教職支援センター長 中原邦博

平成28年度宮崎県及び北海道公立学校教員採用選考試験の二次試験結果が発表されました。本学からは、宮崎県高等学校英語に2名、北海道中学校英語に1名、合計3名が合格しました。おめでとうございます。

本学からは、昨年度も3名が合格し、そのうち宮崎県高等学校英語の2名は採用予定枠を独占するという快挙を成し遂げてくれました。今年度は、宮崎県内で高等学校英語の採用予定者は4名でしたから、本学卒業生が50%を占めたことになります。

また、北海道の採用試験に合格したのは現役の4年生であり、最近の高い競争倍率の中で現役学生が合格することは稀にみる成果といえるでしょう。

このように本学の卒業生や現役学生が、毎年のように輝かしい成果を上げていることを、大学を挙げて祝福したいと思います。

なお、隣接する宮崎学園短期大学卒業生も、宮崎県の小学校教員採用選考試験の二次試験に4人合格しました。併せて、心から祝福の拍手を贈りたいと思います。

宮崎県高等学校英語⇒宮崎国際大学卒業生2名合格

北海道中学校英語⇒宮崎国際大学1名現役合格

国際教養学部（教職課程）実績



目次

- 教育学部生へ..... 1
- 平成28年度公立学校教員採用選考二次試験に3名合格.... 1
- 特別対策合宿Aに教育学部2年生全員参加..... 2
- 意義のある合宿..... 2
- 教員採用試験に向けて.... 2
- 特別対策合宿Aを終えて... 3
- スクールトライアルを終えて..... 3
- クラブ紹介
- 宮崎国際大学吹奏楽部.... 3
- 保育ゼミに参加しませんか..... 4
- 保育ゼミに参加して..... 4
- 平成28年度宮崎国際大学教育学部入学試験日程..... 4

ハイライト

教職合格を目指し、特別対策合宿Aを実施しました。夢の実現に向けて努力している学生と学生を支援している教職員の様子を紹介します。

特別対策合宿Aに教育学部2年生全員参加

特別対策合宿A

期日：平成27年9月1日～3日

場所：宮崎県青島青少年自然の家

内容：特別対策講座

講義(国語・算数・図画工作)、面接対策、講話、小論文
新規採用教員講話、水泳、試験、レクリエーション、読書
ナイトウォーク、オリエンテーリング、奉仕活動など

写真右：水泳後の様子

左 奥：学生教職支援センター長 中原邦博

右 奥：学生教職支援センター係長 波江野祥代



意義のある合宿

学生教職支援センター長 中原邦博

大学で初めて実施した「特別対策合宿A」でしたが、学生たちにとって今後の教員採用試験対策に本気で取り組む大きな転機になったという点で、大変意義のある行事であったと思います。

学生たちが合宿の後に書いた感想を要約すると、次の3点にまとめられます。

第1は、自分の知識の足りなさ、学習指導要領関係の勉強不足、個人面接に対する対策の必要性を痛感したなど、自分の課題が明確になったということです。

第2は、寝食をともしながら、勉強も含めて様々な活動と一緒に取り組むことを通して連帯感、所属感を味わうことができたということです。

第3は、新規採用教員や元教育行政関係者の経験豊かな講義を聞いて、教員・保育士になるのだという目的意識をみんなで高めることができたということです。

課題もありましたが、次年度の合宿計画をさらに充実したものにしていきたいと思います。なお、後期から、1年生対象の特別対策講座が始まっています。教職員及び学生が心をついて、目標達成に向けて邁進しましょう。

教員採用試験に向けて

学生教職支援センター係長 波江野祥代

「特別対策合宿A」は、教員採用試験の対策の一環として実施されました。一期生の学生にとってはもちろんのこと、教職員にとっても初めての合宿ですので、企画した者にとっては、成功するか大変ハラハラしました。しかし、2年生全員が参加することができ、天候に左右された場面もありましたが、有意義な2泊3日を過ごせたようです。

合宿の内容としては、専門分野の対策として「国語」「算数」「図画工作」の講義と個人面接、水泳がありました。また今年度から宮崎県中学校英語教員として採用された本学国際教養学部卒業生の岡元聡先生から講話をしていただきました。採用試験に向けて、どのような勉強をして合格を勝ち取ったのかというご自身の経験を語られ、模擬授業もしていただき、学生たちは真剣に聞きっていました。大変刺激になったようです。

そのほかにも、ナイトウォークやオリエンテーリングも行いました。もともと団結力のあった2年生ですが、より一層結束が強まったようです。学生のみならず、私にとっても大変貴重な3日間を経験することができ、教育学部を盛り上げていく決意をさらに固めました。



ナイトウォーク



水泳

特別対策合宿Aを終えて

教育学部2年 池田有香（新潟県立新発田高等学校出身）

青島青少年自然の家での合宿を終えて、とても充実した3日間を過ごすことができました。正直、今回の合宿だけで自分が大きく成長できたかといえばそうではないけれど、もう一度自分自身について見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。

個人面接練習や初めての水泳の授業など、自分の中での課題もたくさん見つかりました。さらに、新規採用教員の英語の先生のお話は、説得力があり、とてもためになりました。

合宿が始まる前は、嫌だとか面倒だというように思っていました。教育学部のクラスメイトと同じ環境で過ごすことはないのでもとも新鮮な体験になりました。

今回の合宿で見てきた課題を今後の学生生活の中で改善していきたいと思っています。



面接対策 左から池田さん、徳丸さん、甲斐さん

スクールトライアルを終えて

教育学部1年 前田知瑛乃（宮崎県立宮崎大宮高等学校出身）



3日間のスクールトライアルは、小学校教諭を目指す私にとって貴重な経験となりました。今回、私は通常授業だけでなく、避難訓練や運動会の予行練習、事務室、職員会やその他の諸会議など、多くのことを観察させて頂き、教師という仕事の内容が想像よりも多いことや大変であることを学びました。そして、教師という仕事は自分が想像していた以上にやりがいのあるものだと感じました。

大学1年という早い段階で実際に小学校の教育現場を観察できたことで、多くのものを得ました。今回の体験で得たことを今後の学生生活や将来の夢の実現に役立て、教育に対する情熱や幅広い知識、児童への深い愛情を持った教師になりたいです。

スクールトライアルとは、教職を希望する学生（県内大学の1、2年生及び短期大学の1年生）を対象に、県内の小中学校及び県立学校で3日間程度学校体験をする、宮崎県教育委員会の主催事業です。

学生は受け入れ校の先生方と行動を共にし、日常の職務内容を体験することになります。

クラブ紹介

宮崎国際大学吹奏楽部



教育学部2年 長友ゆり

（宮崎県立宮崎北高等学校出身）

宮崎国際大学吹奏楽部は昨年の春から活動を開始しました。女子15人、男子4人で週2回楽しく練習しています。今まで続けてきた楽器、あるいは新しい楽器に挑戦する人や、初めて楽器演奏に挑戦している人もいます。

宮崎国際大学のオープンキャンパスや大学祭、地元の老人ホームでの活動、最近では子安観音祭りや、宮崎県内大学の吹奏学部による合同演奏JOINTコンサートにも参加しました。このような活動を通じてさまざまな人に会いました。みんなで音楽をする楽しさは私の宝物です。これからも、楽しく音楽活動をしていきたいです。

「保育教諭対策ゼミナール」(通称:保育ゼミ)に参加しませんか？

保育ゼミ担当 教育学部 講師 相戸晴子

週1回(原則、水曜日5限目)、1号館2階の児童教育研究センターで「保育ゼミ」を行っています。学部、学年に関係なく誰でも自由に、自分のペースで参加することができます。

ここに集まっている学生たちは、「保育士資格をとりたい!」「採用試験対策をしたい!」など、自ら「やりたい!」と思っている人たちです。

活動内容は、まず「問題」に取り組み、各人で答えあわせ。その後は、情報交換をしたり、励ましあったり、わからないところを話し合ったりと、和気あいあい楽しく学習していきます。

みなさんも、一度「保育ゼミ」に参加してみませんか?きっと良い刺激がもらえると思いますよ。



ゼミは児童教育研究センターで行っています。
写真は10月8日の参加者。途中からの参加も歓迎!

保育ゼミに参加して

教育学部2年 安藤智夏(宮崎県立高鍋高等学校出身)

私たちは、週1回保育ゼミに参加しています。保育ゼミでは、保育士資格を取得するために国家試験対策を行ったり、保育教諭の情報を共有しあったりしています。

このような保育ゼミに参加できることは、私にとってとても嬉しいことです。授業では一緒になることのない1年生と一緒に学ぶことができ、自分ももっと頑張らなくてはならないと改めて感じることができました。また、過去問題に取り組んだりすることで、自分の記憶から抜けていることが補えています。このような活動を続けていけば、きっといい結果が残せると信じています。保育ゼミに参加しているみんなと切磋琢磨しながらこれからもがんばっていきたいです。

教育学部2年 高田真帆(宮崎県立延岡高等学校出身)

現在私は保育教諭ゼミナールに参加しています。私自身は小幼コースですので本来であれば保育士資格は取得しないのですが、将来を見据え、取得のために保育ゼミで学習しています。

このゼミには自ら学習したいという意欲を持った人たちが学部学年の枠を超えて集まり、情報交換をしながら、それぞれの目標を達成するため頑張っています。私の目標は来年8月にある保育士の国家試験で合格することです。学ぶべきことがたくさんありますが、このゼミを通して自分のペースで学習できるので無理なく目標と向き合えています。継続は力なりというくらいですのでコツコツと頑張っていきたいです。

平成28年度 宮崎国際大学 教育学部 入学試験日程(12月~3月実施分)

学部や入学試験についての詳細は、大学案内パンフレット、学生募集要項及び下記ホームページをご覧ください。

選考区分	出願期間	試験日
・AO入試	平成27年 12月1日(火)~12月8日(火)	12月10日(木)
・推薦入試(Ⅱ期) ・一般入試(前期) ・大学入試センター試験利用入試(前期) ・AO入試 ・特別入試(帰国生徒・社会人) ・編入/転入	平成28年 1月12日(火)~2月2日(火)	2月6日(土) [大学入試センター試験 利用入試を除く]
・一般入試(後期) ・大学入試センター試験利用入試(後期) ・AO入試 ・特別入試(帰国生徒・社会人) ・編入/転入	平成28年 3月9日(水)~3月22日(火)	3月24日(木) [大学入試センター試験 利用入試を除く]

入学試験日程は国際教養学部と共通



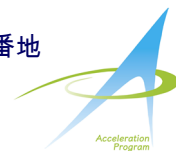
宮崎国際大学

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>



大学教育再生加速プログラム